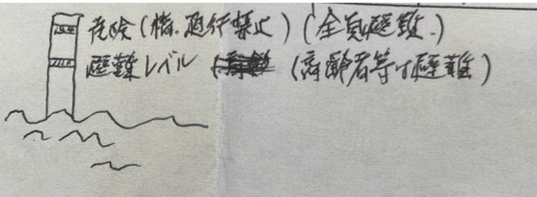


長地区タイムライン作成のためのワークシート

警戒レベル	基準（どのタイミングで、どんな基準に従うか）	活動内容（誰が、どのようなことをするのか）	上田市からの避難情報発令	気象庁等の情報	住民等がとるべき行動等（上田市による）
1	横尾地区 水害については特別時の場合以外に避難は自宅で可か？			早期注意情報 （警報級の可能性）	最新情報に注意 災害への心構えを高める
2				・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	自らの避難行動を確認 ・避難場所 ・避難方法
3	消防からの水位連絡（危険水位に近づいている）→自治会（長）→高齢者を避難させる 《消防団からの情報が基準》 基に避難をする（させる）	（委員会、福祉推進委員、福祉委員） 課題 1.要支援者を知らない（個人情報） 2.誰が避難をさせるのか 3.民生委員の仕事がどこまでなのかはっきりしていない（災害時何をするか）	高齢者等避難	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	●危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等：避難を完了させるのに時間を要する住宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者
4	（行政への要望） 目で見る基準を作る	四日市橋等に水位が解るように水位メモリをつける （橋げたに） 基準となる印を共有できる	避難指示	氾濫危険情報	●危険な場所から全員避難
5			緊急安全確保	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	●命の危険 直ちに安全確保！